

長野県看護協会・看護連盟協賛研修アンケート結果

日時： 2024年11月2日（土） 13：30～15：30

テーマ： 看護におけるDXについて

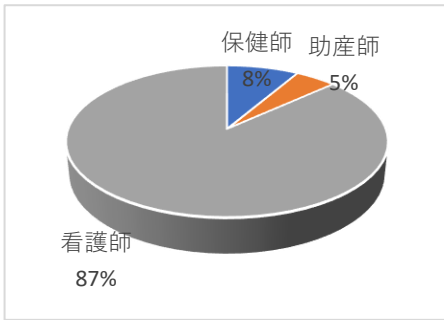
講師： 東京医療保健大学 医療保健学部医療情報学科教授 瀬戸僚馬

場所： 長野県看護協会会館 大ホール

出席者：153名 アンケート回収率：49.7%（76名）

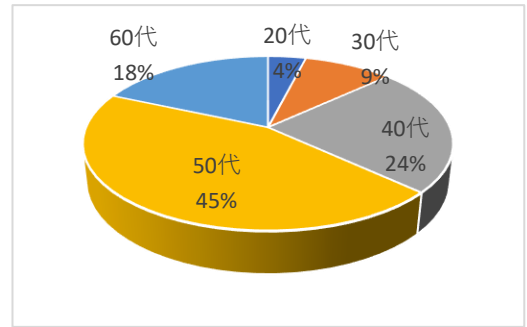
1. 資格

保健師	7
助産師	4
看護師	72



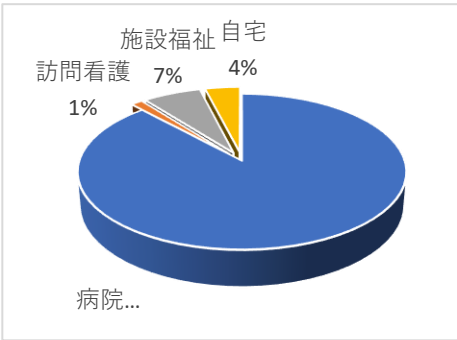
2. 年齢

20代	3
30代	7
40代	18
50代	34
60代	14



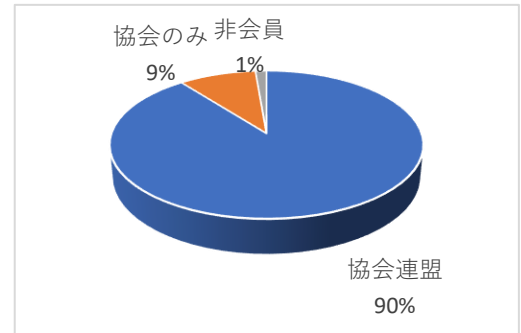
3. 所属施設

病院	67
訪問看護	1
施設福祉	5
自宅	3



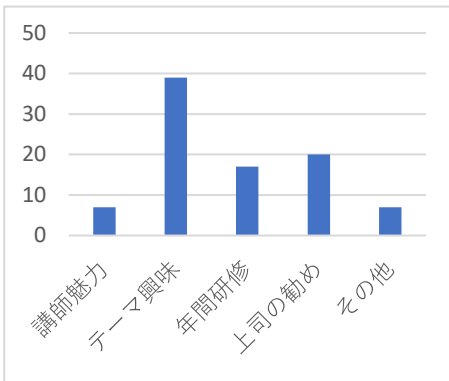
4. 会員歴

協会連盟	68
協会のみ	7
非会員	1



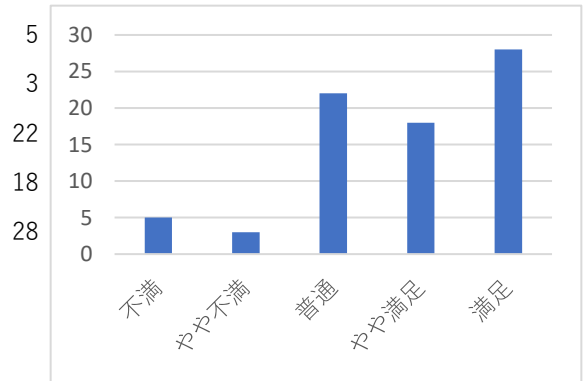
5. 参加動機

講師魅力	7
テーマ興味	39
年間研修	17
上司の勧め	20
その他	7



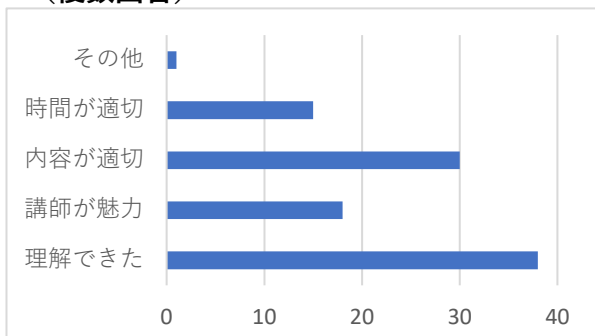
6. 満足度

不満	5
やや不満	3
普通	22
やや満足	18
満足	28



7. 満足の理由 (複数回答)

理解できた	38
講師が魅力	18
内容が適切	30
時間が適切	15
その他	1



8. 研修の感想

・DXが何かという知識がいまひとつ膨らまないままいました。さらに、それを看護に活かすとはどんなところから進めたらいいのかがモヤモヤしていました。

概念として、捉えることができたと思います。具体的には、もっと現場の困りごとを集めて検討すべきと思いました。ありがとうございました。

・仕事の効率を上げるためにはDXが大切になるため、職場全体で取り組むことが大切だと感じた。

AIでは行えない看護の本質の部分があり、それが看護師に求められることだと感じた。

先生のお話を聴いてチャットGPTをこれから活用していきたいと思った。

・資料の字が小さすぎて読めなかったです。病院間、病院と介護施設、病院と居宅介護支援事業所とのDXについて知りたいと思いました。

・看護にAIを取り入れることを現在デモでいくつか行っているが、本来看護がやるべきこととの住み分けを考える必要があると思った。

・DXも便利な点もあるが、色々と考えて使わないといけないとわかりました。

今後、自施設でどのように使っていくのか検討していきたいと思いました。

わかりやすい研修でした。ありがとうございました。

・DXに、あまり馴染みがない人にとっては、内容が少し難しかった気がする。質問に対する答えも、具体的な状況を把握しないと短い時間で具体的に返答するのは難しい質問もあったが、聞きたい事と返答の内容が少しずれている気がした。

負担軽減のためのIoTが、かえって手間を増やすことになりかねないというのはうなずけた。

・DXというと、ワンタッチで記録や書類ができて、煩雑な作業もあつという間にこなせてベッドサイドに行ける時間が大いに増える夢のような世界を思い描いて話を聞きましたがなかなか先には進まないものだなあ、と思いました。

・当院でのDX推進活動を評価しながら学べました。結果、良い方向に動いていると感じ安心しました。

・看護DXについて今回の研修会で学ぶ事ができました。

・電カルの確認作業が、ベッドサイドに行く時間を削っている。病院機能評価機構の規定があるため、やらざるをえない。非常に矛盾を感じる。電カルに振り回されず、ベッドサイドに行きたい。

・まだまだ課題の多い取り組みなのかもしれませんが、もう少し、実際にDXが進んでいる事で、何が改善されているのかとか、金額はかかるが、投入する事でのメリットは何があるのかとか、病院として投資する価値はなんなのか？などの話が聞けるのかと思ったので、ちょっと満足度は低かったです

・DXを上手に利用し、看護ケアの時間を作れるように業務整理が重要だと改めて感じた。

・とても有意義な講義でした。看護のDX、概ね理解出来ました。年齢を重ねても出来る範囲で知識を得たい！！

・当病院でもスマートベッドの介入が始まっている。業務が楽になると言われてはいるが、まだ楽になっていると感じる事ができていない。反対にコールが多くなっているのではと思う。楽になるには、使う側が使いこなせるようにならないといけないと思うし、情報が多すぎないようにする事が必要と学んだ。

・看護におけるDXが、理解できました。働く人の考え方や働き方の多様性が進む中、デジタル基盤が重要だということが分かりました。

・DXについて疎いため、内容は難しく感じましたが、講師の方が分かりやすい例えを交えながら説明されていたのでとても聞きやすかったです。

・医療DXの方向や考え方など勉強になりました。ありがとうございました。

・もっと効率的に電カル機能が使えたら時間短縮になりそう。機能をもっと知りたい

AIが進めば、患者さんとの時間が増えるという考えの一方で、AI任せになって看護師が自分で考えて個別性の看護を行う意識が薄くなるのではという不安もある

・DXとはどういうことなのか、目指す姿がわからなかったので、とても興味深いお話でした。ありがとうございました。

・デジタル等に疎いので、専門用語など理解できないところも多々ありました。先生のお話はとても面白かったです。電カル移行したばかりで、事務的作業にかかりきりになってしまい、てんてこ舞いな毎日ですが、少しでも患者さんのベットサイドに行く時間を作って行ければと思います。ありがとうございました。

・わかりやすく楽しい研修でした

・初めての研修内容でした。年齢的に難しかったです。

・今回の研修でDXへの介入に対するヒントをいただきました。

・DXについて、推進と言われてもどのように進めるか悩んでいます。何をするか、人材は、資金はとハードルが高いです。今回の研修で、思考の変化に繋がるヒントをいただきました

・少し難しいかなと感じました。DXについては、どう進めていいのかなかなかなか分からない部分が多いです。（コストのこともあり）

・どう変わっていくか、具体的な部分は、わかりました。進めていく人材育成は、厳しいですね。

・テーマに興味があり参加しましたが、看護はどう変わるかよくわかりませんでした。

9. 連盟への要望

・総選挙の後の研修でしたので、会長さんのあいさつが聞けてよかったです。連盟がどの方向で行くのか、この混乱期に、指し示していただきたいと、思っていました。高階さんが、島根から出たのは、どんな流れなのか、どこかの機会で聞けたらと思いました。

・他施設との情報交換や看護の現状について知る機会となるため、今後も研修会の企画を続けて行って欲しいです。

・ITやSNSにもっと強くなって、上手く宣伝をうつとか、会員の申し込みをネット経由でやるとか、会員費を自動引き落としにするとか、時代に則した形になるといいなあと思います

・今後も、現場の声を届けて下さい。自分も周りの仲間達に声を上げるよう発信していきたいです。

・自民党以外の政党で挑戦してほしい

・看護のDXについて概ね理解できた。講師は看護師の実務経験もあり分かり易かった。親しみも感じた。行くは日本の看護にもAIがふんだに使われる時期もそう、遠くではない?!そして、私たちの年代もそれを使いこなせるZ世代のお世話になる日も遠くはないと思われる!

・DXへの支援、人材 DXのわかる人材、金銭面など 小規模な施設ほど必要でも進まないと思います。政策として介入をお願いします

10. まとめ

・DXの進捗状況は施設ごと様々です。人材不足と言われている中で活用方法を模索して推進する必要性を感じた。互いに情報交換しあい、前に進めていきたい。